

科目	単位	時間	履修学年	講師名
実習前研修 (成人・老年看護学実習Ⅰ/Ⅱ)	教科外	16時間	3	中島千頭(8時間) 岡田陽子(8時間)
ねらい	各領域において知識の整理をする。 特徴的な技術を身につけ、看護実践能力の向上をめざす。 実習に臨む姿勢を整える。			
回数	授業内容			授業方法
1回目	<b>【成人看護学実習】 中島千頭</b> ・成人看護学実習に向けてオリエンテーション ・疾患学習会：学生同士で、受け持ち患者の疾患を共有学習し、知識の強化を図る  ・基本技術の練習：よくみられる疾患をもとにして場面設定し、急性期の経過を考えながら、バイタルサイン測定やフィジカルアセスメント、保清等の援助を考え、実践する  ・さらなる技術向上のために：成人看護によくみられる看護技術や医療機器・物品の取り扱いなどについて演習を行い、技術到達度の向上を目指す（輸液ポンプの取り扱い、輸液管理、包帯を使った静脈ルートの固定方法など）  ・医療安全の実際について学習			学習会
2回目				演習
3回目				動画学習 演習
4回目				演習
1回目	<b>【老年看護学実習】 岡田陽子</b> ・老年看護学実習に向けてオリエンテーション ・疾患学習会：学生同士で、受け持ち高齢者の疾患を共有し、知識の強化を図る。また、病棟の特徴を理解した疾患学習を強化する  ・基本技術の練習：老年期に多い疾患・症状をもとにして場面設定し、高齢者の特徴を考えながらバイタルサイン測定やフィジカルアセスメント、保清などの援助を考え実践する  ・さらなる技術向上のために：老年看護によくみられる看護技術や誤嚥予防・廃用化予防について看護実践能力が向上する技術を習得する  ・医療安全の実際について学習			学習会
2回目				演習
3回目				演習
4回目				演習
教科書	成人：成人看護演習で使用した教科書（医学書院）、及び講義資料 老年：老年看護演習で使用した教科書（医学書院）、及び講義資料			
評価方法	※研修での学びは実習評価と関連する。学習した内容は実習に持参し、活用すること。			